



平成29年6月29日

各位

会社名 トレーダーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 金丸 勲
(JASDAQ・コード 8704)
問合せ先 取締役 加藤 潤
(TEL 03-4330-4700 (代表))

当社子会社と株式会社MARS Companyとの共同出資による新会社設立及び 農業のテクノロジー化を推進するアグリテックビジネス強化に向けた 支援の開始に関するお知らせ

当社子会社で投資事業及びベンチャー企業の成長を支援するアクセラレーターとしての活動を行うトレーダーズインベストメント株式会社（以下、「トレーダーズインベストメント」といいます。）は、本日開催の同社取締役会において、株式会社 MARS Company（以下、「MARS Company」といいます。）と共同出資により、MARS Company の独自冷蔵技術の基幹技術である電場技術を農業分野に応用し、融合させた事業を行う新会社を設立することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 共同出資による新会社設立の背景・経緯・目的

「アグリテック (Agritech)」とは、農業 (Agriculture) と技術 (Technology) を組み合わせた造語であり、金融とテクノロジーを組み合わせた「フィンテック (Fintech)」に並び、今後、世界的にその市場規模が拡大すると見込まれている大きな可能性を有する分野です。

世界人口の増加や自然環境問題が深刻化する中において、グローバルな規模で食糧の安定供給体制を確保し続ける必要性があり、農作物の生育に関わる様々な条件・状況の変化に影響を受けずに、より効率的かつ安定的に農作物を生産することがサステナビリティ (持続可能な環境・社会・経済) の観点からも重要な課題となっています。

特に我が国では農業従事者の高齢化が進展し、農業生産額の減少や食料自給率の低下といった諸問題を克服するだけでなく、安価な海外農産品の輸入に対抗するために、より付加価値のある農作物を生産・提供する農業のブランド化や、収穫までの作業の合理化 (短縮化・効率化) を推進する必要があります。アグリテック (Agritech) は、こうした農業が直面する課題に、最先端の様々なテクノロジーやデジタル技術、科学技術、例えばビッグデータ、AI、IoT、クラウド、画像認識処理技術、品質管理技術などを導入し、機械化や無人化等による生産面の効率化と、農作物自体の生育力を高める新しい技術の汎用化を促すことで、農業における生産性の向上、収穫率の増加、食の安全性の向上等に貢献することができる新しい取組み分野です。また、農業のみならず、酪農・畜産業や水産業等への普及 (拡張) も期待されています。

MARS Companyは、生鮮食材の輸送や冷蔵保管において、食材を高鮮度のまま長期間維持する独

自の冷凍・冷蔵・製氷技術を有しておりますが、本件設立会社では、非熱電場技術を農作物の生育の各段階に利用（応用）させる諸研究と実証事業を行うプロセスを経て、農業関連事業者・団体や各農家、また農業製品の製造メーカー等へ同社技術を広めていく事業を展開する予定です。

MARS Companyの非熱電場技術等を用いて、土壌菌の活性化による土地の自然力回復や種子の発芽・発育の効率化などの効果が期待されます。また、農作物の生産者にとっては、安定的な収量の拡大および土地改良費用の低減といったメリットがあり、品質品位を損なわない促進栽培による収益性の向上に貢献することにつながります。そして、収穫された農作物は、MARS Companyの『蔵番』などの非熱電場技術を利用した長期鮮度保持が可能な冷蔵設備で保管（保存）することによって、産地から、より遠くの市場・消費地へ長期輸送（流通）することも可能であり、ブランド化した商品として、また、価格面でも市場競争力を有する付加価値のある農作物として顧客に訴求できる効果も期待され、農業の6次産業化を目指す取り組みにも貢献しうる事業展開を行なってまいります。

また、株式会社Liquidの100%子会社で、ITを活用した次世代の社会インフラ基盤技術の研究機関「Recreation Lab」を通じて、農業に特化した画像解析技術の共同研究を実施する予定です。

トレイダーズインベストメントは、設立会社への出資と同社の事業強化に向けた各種アドバイザリー業務を提供しながら、同社のアグリテックビジネス領域での成長を支援する活動を行います。また、今後は当社グループで再生可能エネルギー事業を営む株式会社ZEエナジーのバイオマスガス化発電設備において、木質チップを原材料とした発電過程で生み出される（最終的に残る）高品質の「炭」を土壌菌活性化のための肥料としたり、また、バイオマス発電所からの廃熱やCO2を近隣のビニールハウス栽培において二次利用する複合的な研究や農業事業展開も企図しております。

農業のテクノロジー化の強化と地産地消型のエネルギーの効率利用の推進を、持続可能な農業（サステナブル・アグリカルチャー）及び循環型農業の実現に向けた取り組みとして、当社グループ各社も連携して推進してまいります。

2. 設立会社の概要(予定)

- (1) 商 号 株式会社MARS AGRITECH（マーズアグリテック）
- (2) 所 在 地 群馬県高崎市問屋西一丁目1番2
- (3) 代 表 者 代表取締役 大野 正樹
- (4) 事 業 内 容 非熱電場技術等のテクノロジーを活用した農業事業（アグリテック・ビジネス）、及び関連製品の研究、製造・販売等
- (5) 設 立 予 定 日 平成29年7月
- (6) 資 本 金 1,000万円
- (7) 株 主 株式会社MARS Company（90%）
トレイダーズインベストメント株式会社（10%）

3. 共同出資の相手方の概要

- (1) 商 号 株式会社MARS Company
- (2) 所 在 地 群馬県高崎市問屋西一丁目1番2
- (3) 代 表 者 代表取締役 大野 正樹
- (4) 事 業 内 容 冷蔵・冷凍・製氷・解凍装置の製造・販売事業等
- (5) 設 立 年 月 日 平成18年7月7日
- (6) 資 本 金 3,500万円
- (7) 株 主 未公開企業のため、公表していません。
- (8) WEBサイトURL <http://www.mars-company.jp/>

4. 今後の見通し

本件が平成30年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。今後、本件設立会社の研究活動や事業化に向けた取り組みを支援してまいります。事業が拡大していくことで当社業績に重要な影響を及ぼすことが明らかになった場合には、別途、開示いたします。

以上